



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 つくば市立前野小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	オリンピックの話を聞く会 (3～6学年 計86名) メダル披露会 (全校児童 計129名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (特別活動) ② 行事名 (オリンピックの話を聞く会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックメダリストの体験談を聞いたり実技体験をしたりすることにより、子どもたちの情操や感性、夢をもつことを大切に思う心情を養う。
5 取組内容	<p>1 オリンピックについての掲示</p>  <p>2 道徳、国語の授業 (オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心の向上)</p> <p>3 講演会：3～6年生対象テーマ「失敗＝ダメ じゃない」</p> 

4 大穂学園スポーツ交流会



5 持久走大会



6 第2回来校：1～6年生対象メダル披露会



6 主な成果

- ・失敗することを悪いことととらえるよりも、次の成功の力となることが分かり、様々なことに自信をもって取り組める児童が増えた。
- ・スポーツに対する関心が高まり、挑戦することの大切さを感じることができた。
- ・話を聞く際の態度について考えることができた。

7 実践において工夫した点
(事業の特色)

- ・オリンピックを招待するということを多くの児童に周知した。
- ・柔道に実際に触れさせる機会とするため、オリンピックの方に実際に投げてもらったり、投げさせていただいたりする機会を設けた。
- ・1、2年生には実際の公演を長い時間聞くことは難しいが、オリンピックメダルなどに触れる機会はそうないことから、第2回講演会として、メダルに触れる会を催した。
- ・体育と特別活動を合科的に扱うことで行事を増やさないようにした。
- ・見学の態度や会の運営など事前の準備を丁寧に行った。

8 主な課題等

- ・講師招聘が各推進校に任されることで、人選や予算の使い道に課題を感じる。
- ・各教科の年間計画にどのように位置付ければよいか、カリキュラムマネジメントが必要となる。

9 来年度以降の
実施予定

- ・外部講師を招聘したスポーツ活動の実施
- ・大穂学園交流スポーツ行事の実施
- ・常時的に行うスポーツ活動の実施